
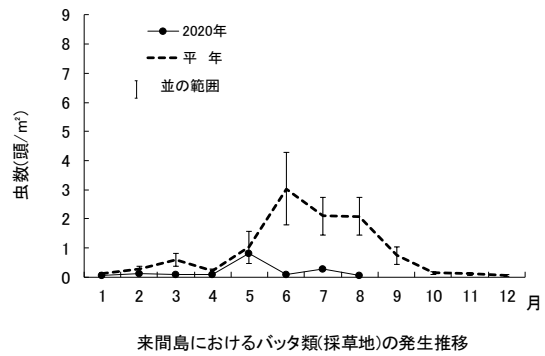
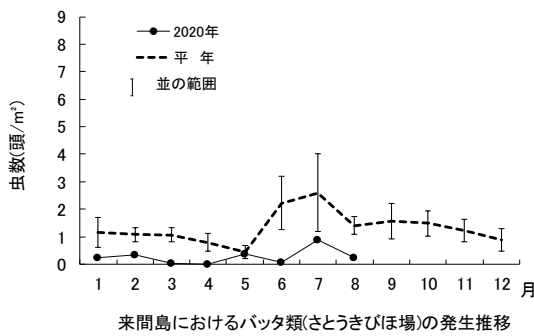


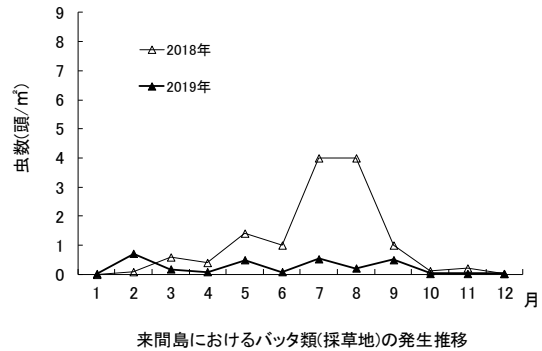
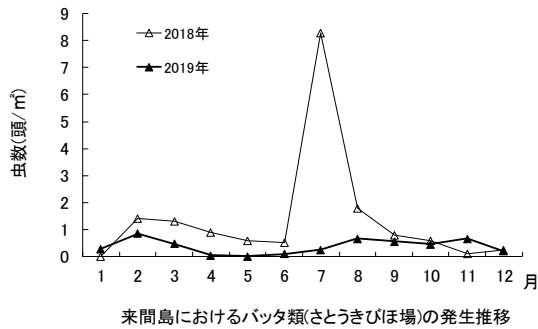
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	バッタ類		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	少	
予報	8 月からの増減傾向	→	
		9 月の発生量 (平年比)	少
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今年と平年の推移



過去 2 年の推移



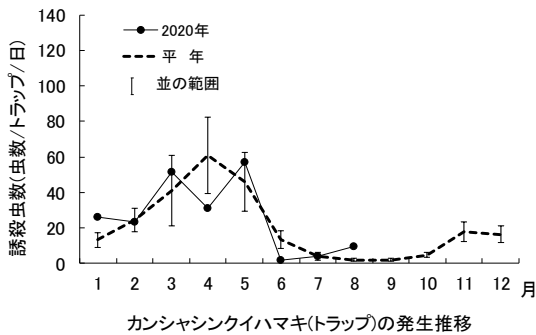
防除のポイント

- ・ 発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。
- ・ 成虫防除を実施する場合には、活動の鈍い早朝に一斉防除を行うと効果的である。

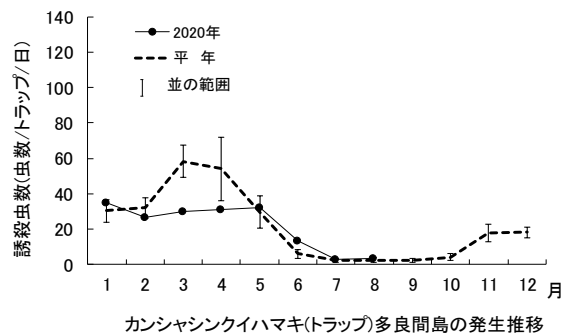
作物	さとうきび		地域	宮古群島
病害虫名	メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)			
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	—		
予報	8 月からの増減傾向	—		
	9 月の発生量 (平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果

宮古島




多良間



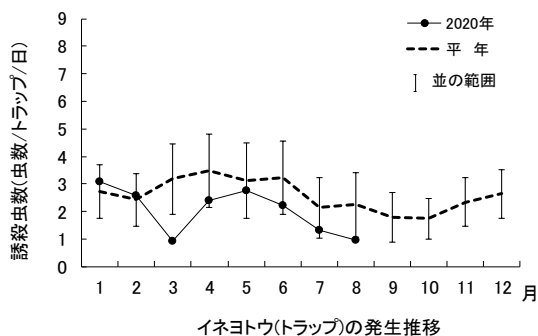
防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

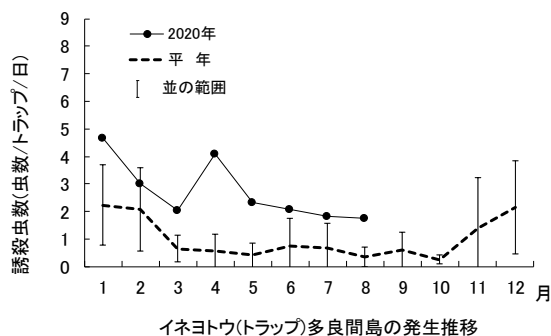
作物	さとうきび		地域	宮古群島
病害虫名	メイチュウ類 (イネヨトウ)			
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	—		
予報	8 月からの増減傾向	—		
	9 月の発生量 (平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果

宮古島




多良間



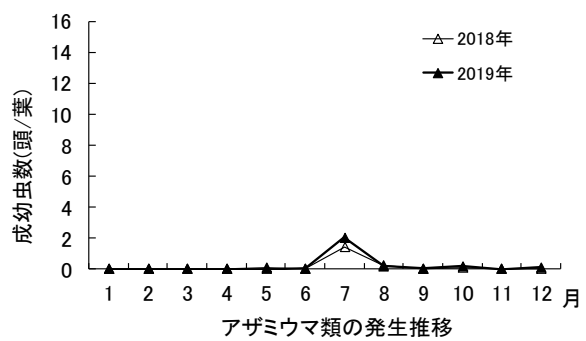
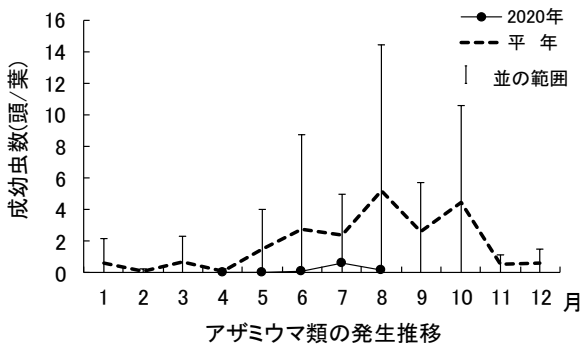
防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

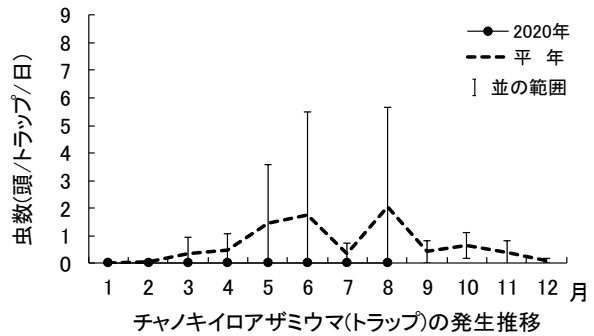
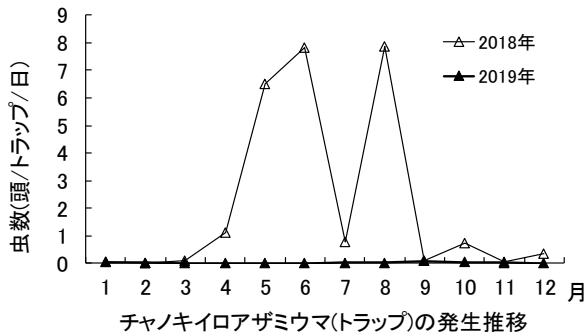
作物	マンゴー	地域	宮古群島	
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ			
調査結果	8 月の発生量 (平年比)			並
予報	8 月からの増減傾向			↘
	9 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)		

調査結果

今年と平年の推移



過去2年の推移




・発生ほ場率：40% (平年値：83.3%)

防除のポイント

- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・ 収穫期に発生が多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
- ・ コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける

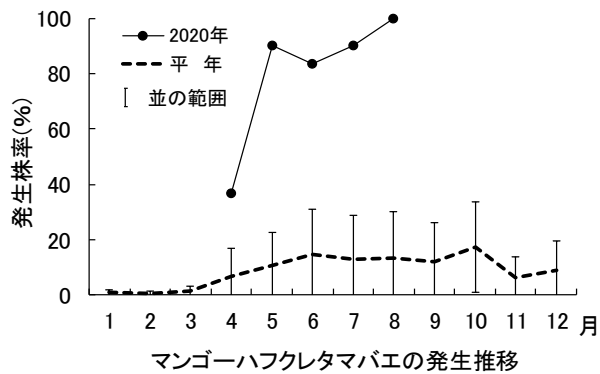


ナガエコミカンソウ

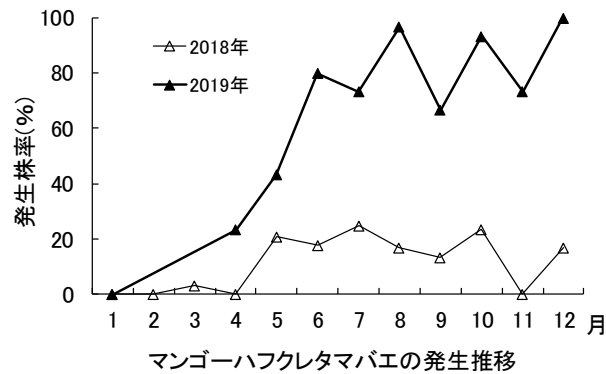
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	多	
予報	8 月からの増減傾向	→	
	9 月の発生量（平年比）	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→） 新梢が発生量が増加するため	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年の推移



- ・被害新梢率：100%（平年値：66.7%）
- ・発生ほ場率：100%（平年値：29.5%）

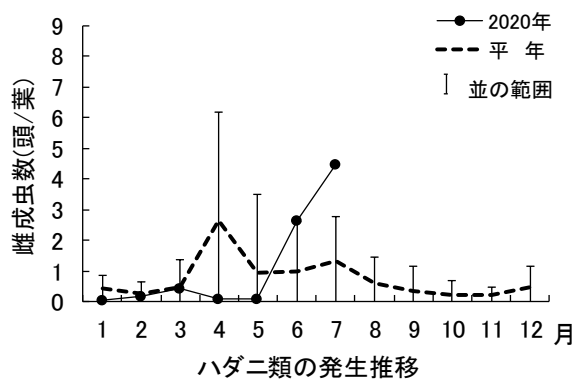
防除のポイント

- ・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

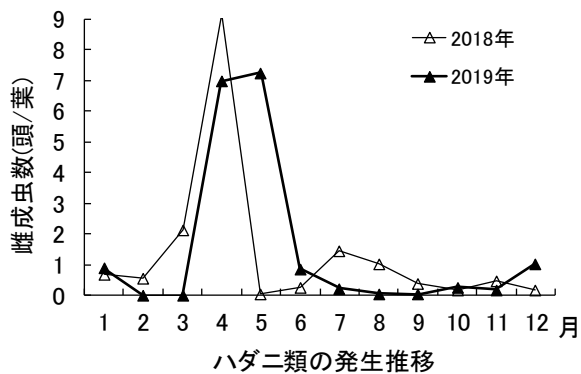
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類		 <p>シュレイツメハダニ</p>
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年の推移



- ・発生種：シュレイツメハダニ
- ・発生施設率：60% (平年値：37.5%)

防除のポイント

- ・晩秋にかけて発生が多くなるので、発生ほ場では早期発見・防除を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症